

根っ子の会の観察日記

～根木内歴史公園:湿地の観察会(2018/1/27 実施)～

参加人数 8名

この冬一番の寒さが続き今週初めに降った雪がまだ残っている。

空は青いが強い風がふいており、それがまた冷たい。さて今日のお楽しみは何だろう。

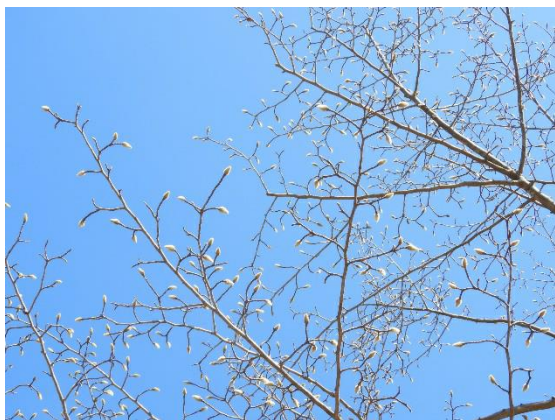
いつもの通路からアオジの声が聞こえるなと思ったら、目の前のアベリアの先にとまった。

カンカンに凍った遊歩道、池にもしっかり氷が。草類は雪の下になってしまっている。

そこで目につくのは立ち枯れたヒメジソ。常緑樹のシラカシ、シロダモなどは雪の中でも健在だ。



湿地の北側はまだ雪に覆われていた



コブシは蕾をたくさんつけていた
今年は花をたくさんつける当たり年か？

葉のすっかりなくなったミズキの枝先には赤い芽がたくさんついていて、一つだけめくってみるとなかには緑色した葉が準備されて



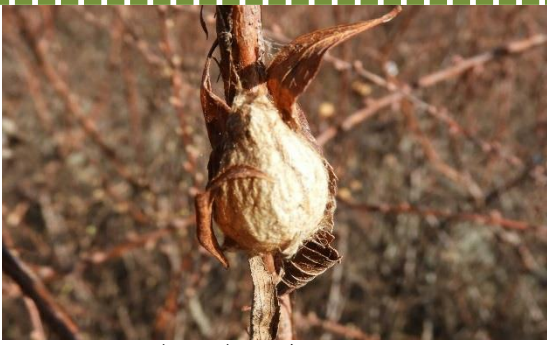
いた。コブシ、ニワトコの花芽もふくらんで春をまっている。

←左の3人が立っているのは池の上！

ユキヤナギの生垣に白いものが見られ、何だろう、カイガラムシだろうか。虫のお姉さんが手にとって脚が見えると教えてくれた。確かに黒い脚らしきものが6本見えた。これはイセリヤカイガラムシというカイガラムシの一種のようだ。



イセリヤカイガラムシ



ナガコガネグモの卵のう

クモの卵のうらしきものもあり、なかにはピツシリ白い卵と動くものがあり、どうもナガコガネグモの卵のうらしい。桜の木にくぼんだ所にも白い糸にくるまれた薄紫色のジョロウグモの卵が見つかったが、鳥かなにかにつつかれたあとだった。オオカマキリ、チョウセンカマキリ、ハラビロカマキリの卵も見られた。



ナガコガネグモの卵のうの中身
すでにふ化しているものも！！



サクラの幹にあったジョロウグモの卵のう
こちらはふ化はしていなかった。

広場への階段を上がっていると陽だまりにアオカメムシの一種か？緑色の虫がじっとしている。冬枯れのなかでの緑色はかなり目立った。においもほんのり、カメムシだ。

ロウバイは黄色い花をびっしりつけて良いにおいをさせていたが、先月あんなにあった葉はすっかりなくなっていた。もちろんカマキリ君の姿もなかった。



アオカメムシの一種、ツヤアオカメムシか？



上富士川に避難中？のコガモ
横のツララもすごい！

凍った池の表面に強い風に飛ばされたハンノキのタネがたくさんのもっている。カルガモ、コガモなどの水鳥は凍った池をさけ、上富士川にたまっていて、アシの間にシジュウカラがあそんでおり、そのうちにエナガもやってきて、アシとコナラの木の間を行ったり来たりしているが、キジバト以外大きな鳥はなかなか現れない。風が強いせいかな。広場にもヒヨドリ、ツグミ以外の鳥影は見えない。

しかし、空堀を下っていると、コゲラ、そして目の前にルリビタキの♂がやってきた。日があたると背中が美しく、みんなで見とれてしまった。去年は♀を見たが今年♂。これからも根木内に毎年来てくれるといいね。寒い、冷たい日だったが最後に美しいご褒美をもらった。



ロウバイの花



美しいご褒美・ルリビタキ



小さい！かわいい！エナガ

2月の湿地の観察会は、、、

2月25日（日）

9:30 駐車場集合（小雨決行）です。

遅れての参加、早めに帰宅など自由ですので、お気軽にご参加下さい。

お問い合わせは下記メールまでお願いします。

akihitoaizawa@gmail.com（相澤）